

付着生物ラーバ情報

サンカクフジツボのラーバが増加

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、2、出現数の推移は図2、3のとおりです。

(1) アカザラ

ラーバは西湾平均で123個体/m³、東湾平均で159個体/m³と昨年同時期それぞれ76個体/m³、123個体/m³より多い状況です。180μm以上のラーバ出現割合は西湾で15.7%、東湾で16.0%と西湾では前回23.0%より減少しましたが、東湾では前回3.7%より増加しています(表1、図2)。

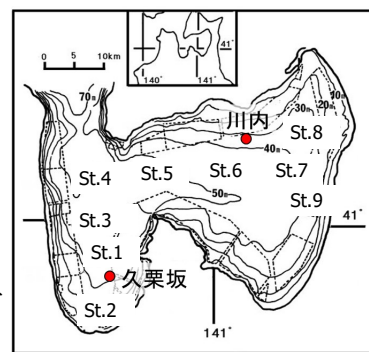


図1 アカザララーバ (St.1～9) とその他付着生物ラーバ (久栗坂・川内) の調査地点

表1 アカザララーバの出現状況 (7月16日)

	全出現個数	180μm未満		180μm以上	
		個数	割合	個数	割合
西湾平均	123	104	84.3%	19	15.7%
東湾平均	159	133	84.0%	25	16.0%
全湾平均	143	120	84.1%	23	15.9%

(2) サンカクフジツボ

ラーバは久栗坂沖で45.0個体/m³、川内沖で14.8個体/m³見られました(表2、図3)。

(3) ユウレイボヤ

ラーバは久栗坂沖で0.6個体/m³見られました(表2)。

		単位: 個体/m ³			
調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ムササビイカ	サンカクフジツボ	
久栗坂沖	R6.7.16	0.6	0.0	45.0	
川内沖	R6.7.16	0.0	0.0	14.8	

※久栗坂沖、川内沖は実験漁場内

2 今後の見込み

(1) アカザラ

ラーバは殻長190μm前後で付着します。付着サイズのラーバが継続して見られているので付着が進んでいると思われます。また、東湾では付着サイズのラーバの割合が増加しているため、今後付着数が増加する見込みです。

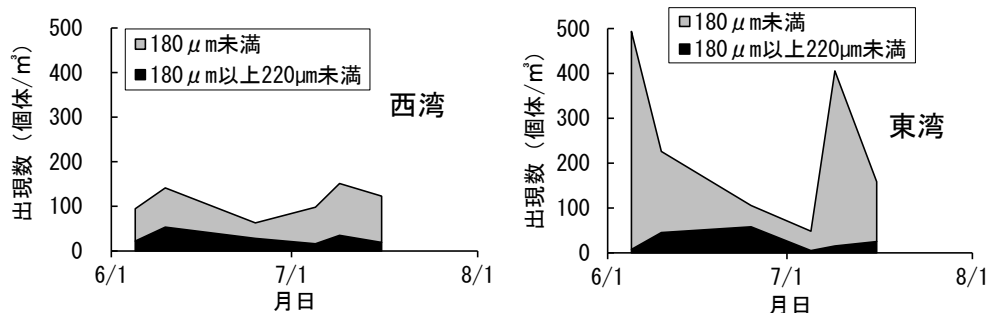


図2 西湾 (St.1～4)、東湾 (St.5～9) におけるアカザララーバ出現数の推移 (令和6年6～7月)

(2) サンカクフジツボ

例年より早めに付着直前のラーバが出現し、増加しているため、早い時期から大量付着が始まる見込みです。

(3) ユウレイボヤ

現在、ラーバはほとんど見られていませんが、今秋、水温が20℃を下回ると再びラーバが出現するものと思われます。

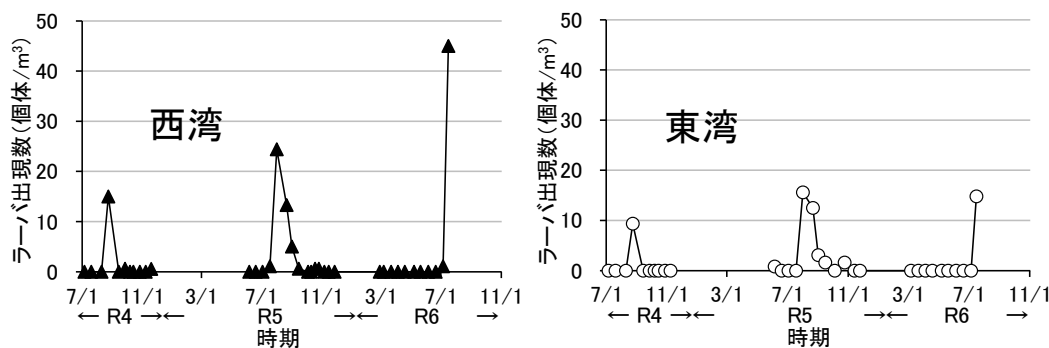


図3 サンカクフジツボラーバ出現数の推移 (令和4年7月～令和6年7月)
・令和元年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 59個体/m³、東湾 45個体/m³

